

November 5, 2020

【前日の為替概況】バイデン民主党候補優勢との見方でNYダウ上昇、リスク選好のドル売り

4日のニューヨーク外国為替市場でドル円は小反発。終値は104.52円と前営業日NY終値(104.49円)と比べて3銭程度のドル高水準。21時30分過ぎに一時104.15円と日通し安値を付けたものの、10月30日の安値104.13円や29日の安値104.03円がサポートとして意識されると買い戻しが入り104.62円付近まで持ち直した。もっとも、NY市場に限れば大きな方向感は出なかった。3日に投開票された米大統領選は、4日に入っても勝敗の行方が決まらない大接戦となっており、市場では「ポジションを傾げにくい」との声が聞かれた。

一方、米株式市場ではダウ平均が一時820ドル超上昇する場面があった。米大統領選と同時に実施された米議会上院選では、共和党が多数派を占める現状が続く見通しとなった。「増税や規制強化といった大規模な政策変更の可能性が後退し、選挙後の不透明感がやや払拭された」という。市場の一部で「バイデン氏優位」との見方が広がったことも株式の買いを誘った。

ユーロドルは小幅ながら続伸。終値は1.1726ドルと前営業日NY終値(1.1715ドル)と比べて0.0011ドル程度のユーロ高水準。アジア市場では1.1603ドルの安値を付けたものの、海外市場では徐々に下値を切り上げる展開となった。欧米株価の上昇を背景にリスク・オンのドル売りが入り、1.1746ドル付近まで値を上げた。その後の下押しも1.1680ドル付近にとどまった。

米大統領選の結果については、4日に入っても大勢が判明せず、トランプ大統領が演説で一方向的に勝利宣言する異例の事態となった。トランプ陣営はバイデン氏が勝利確実と伝わったミシガン州では投票結果の集計中止を求めて提訴したほか、ウィスコンシン州では票の再集計を要求。また、ペンシルベニア州については投票内容を巡り法的措置を取ると伝わった。市場では「勝敗の行方はラストベルトの3州を含む激戦州が勝敗の決め手となる」との指摘があるだけに、法廷闘争が泥仕合を加速させる可能性がある。「2000年のように長期間結果が分からない状態が続くシナリオの可能性が高まった」と先行きを警戒する声も聞かれた。

ユーロ円も小幅続伸。終値は122.55円と前営業日NY終値(122.41円)と比べて14銭程度のユーロ高水準。一時122.07円付近まで売られたものの、日本時間の安値121.96円がサポートされると買い戻しが優勢に。2時30分前に122.60円付近まで強含んだ。米国株相場の上昇が相場の下支え要因となった。

【本日の東京為替見通し】米大統領・上院議員選挙の結果を見極める展開

本日の東京外国為替市場のドル円は、米大統領選挙での残り6州、上院議員選挙での残り6議席の結果を見極める展開となる。

大統領選挙では、バイデン民主党候補が248人(あと22人)、トランプ米大統領が214人(あと58人)を確保しており、6州の開票結果を待つ展開となっている。

バイデン氏が当選するためには、残る6州中2州を制する必要があるが、ネバダとミシガンではリードしており、ジョージアでも勝利を見込んでいる。複数のメディアは、ミシガン州(16人)でのバイデン候補の勝利を報じている。トランプ氏は、アラスカの他、激戦州5州のうち4州を制する必要があり難しい状況になっている。

大統領選でのリスクシナリオは、トランプ米大統領が、接戦となっている激戦州に関して、最高裁判所の介入を要請した場合となる。

上院選挙では、6議席の結果待ちだが、民主党は共和党現有議席を1議席奪うに留まっている。

大統領選で民主党候補のバイデン氏が勝利すれば、カマラ・ハリス氏が副大統領として上院議長を兼ねることから、民主党が上院の過半を握るには、上院での採決が50対50になればハリス副大統領が表決に加わるため、共和党から3議席のみを奪えばいいことになる。

上院選でのリスクシナリオは、バイデン第46代米大統領の誕生と上院の共和党支配となる。

ドル円のオーダー状況は、上値には、104.80円にドル売りオーダー、104.90円超えにストップロス、105.00円にはドル売りオーダーと本日おNYカットオプションが控えている。下値には、104.10円にドル買いオーダー、104.00円にはドル買いオーダー、割り込むとストップロス売りが控えている。

テクニカル分析では、昨日は105.34円まで上昇する局面があったものの、一目・基準線105.07円、雲の下限105.19円、上限105.65円が抵抗帯として上値を抑える状況となっている。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

特になし

<海外>

- 09:00 ◇ 11月NBNZ企業信頼感
- 09:30 ◇ 9月豪貿易収支
- 15:45 ◇ 10月スイスSECO消費者信頼感指数
- 16:00 ◎ 9月独製造業新規受注
- 18:00 ◎ ノルウェー中銀、政策金利発表
- 18:30 ◎ 10月英建設業PMI
- 19:00 ◎ 8月ユーロ圏小売売上高
- 21:00 ☆ MPC2日目、終了後政策金利発表
- 21:00 ☆ MPC議事要旨
- 21:30 ◎ ベイリー英中銀(BOE)総裁、記者会見
- 21:30 ◇ 10月米企業の人員削減数(チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス社調べ)
- 22:30 ◇ 7-9月期米非農業部門労働生産性・速報値
- 22:30 ☆ 7-9月期米単位労働コスト・速報値
- 22:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数
- 6日 04:00 ☆ FOMC、終了後政策金利発表
- 6日 04:30 ☆ パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長、定例記者会見

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

4日 11:08 黒田日銀総裁

「現時点では、デフレ期にみられたような、値下げにより需要喚起を図る行動は広範化していない」

「経済・物価見通しについては、不確実性が高く、下振れリスクが大きいと認識」

「当面、感染症の影響を注視し、必要とあれば、追加的な措置を躊躇なく講じていく方針」

「為替の安定は非常に重要」

「ドル円は比較的安定している」

5日 02:43 フロスト英首席交渉官

「欧州連合(EU)との通商交渉は中核的な問題の一部で大きな相違が残る」

※時間は日本時間

4日 14:46 バイデン米民主党大統領候補

「我々は選挙に勝利する軌道であると信じている」

「我々は現状に満足している」

「全ての投票結果が出るまで忍耐」

4日 14:49 トランプ米大統領

「今晚声明を発表する」

「彼らは選挙を盗もうとしており、それを許さない」

4日 16:32

「我々は最高裁に行くだろう」

「全ての投票停止を望んでいる」

4日 20:16 デコス・スペイン中銀総裁

「欧州中央銀行(ECB)が12月に新たな刺激策を実施する可能性は高い」

5日 00:22 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理事

「成長見通しの悪化に直面するなか、好ましい金融の状態を守るためや経済活動の下支えのために、金融政策によるさらなる支援が必要」

5日 00:28 バイデン陣営

「バイデン氏が次期大統領の軌道にある」

5日 00:50 米郵政省報道官

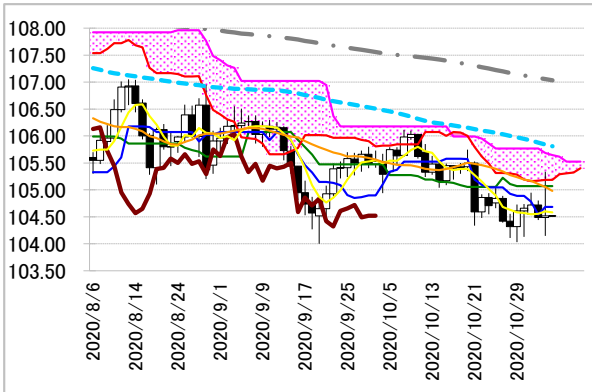
「要求された昨晚の郵便投票の処理完了を確認」

5日 02:09 バルニエ欧州連合(EU)離脱首席交渉官

「英国との通商交渉では極めて深刻な相違が依然として残る」

「EUはあらゆるシナリオに備えている」

〔日足一目均衡表分析〕

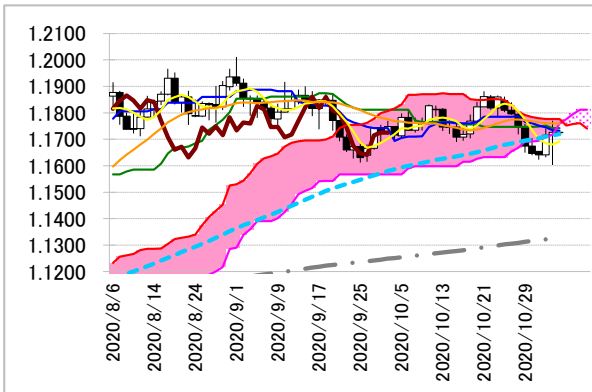


<ドル円=雲の下限線を抵抗に戻り売りスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。105.34円まで上昇して雲の中へ入ったものの、上抜けることが出来ず、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	105.19(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	104.52
サポート1	104.00(9/21 安値)
サポート2	103.09(3/12 安値)

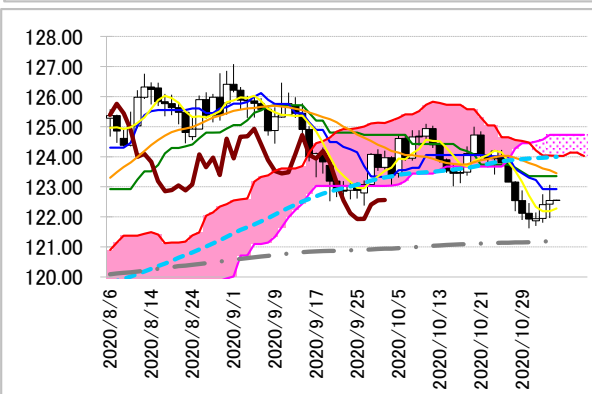


<ユーロドル=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。6手連続陰線で下落後、2手連続陽線で反発したものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1759(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	1.1726
サポート1	1.1612(9/25 安値)

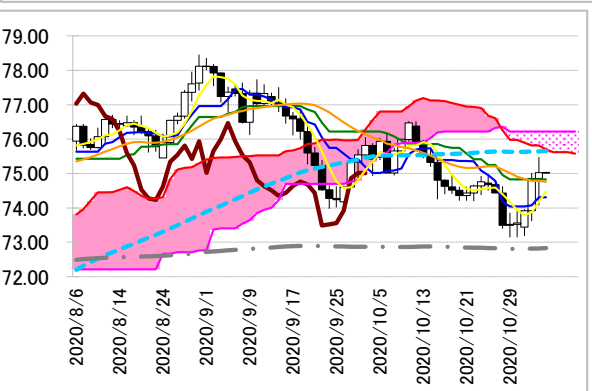


<ユーロ円=基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。3手連続陽線で反発しているものの、転換線を下回って引けていることで、反落の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	123.36(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	122.55
サポート1	121.62(10/30 安値)



<豪ドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。しかし、5手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	75.70(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	75.02
サポート1	74.31(日足一目均衡表・転換線)

5日線	21日線	90日線	200日線	---
イエロー	オレンジ	スカイブルー	グレー	---
転換線	基準線	先行1	先行2	遅行
ブルー	グリーン	レッド	ピンク	ブラウン